

みんなの社プリ～教科書太字の確認～ No. 20

開国と近代日本の歩み



<欧米の進出と日本の開国②>

- (1) 天皇を尊び、外国勢力を排除するとともに、幕府に反対する運動。
- (2) 幕府に反対する大名・武士・公家を処罰する安政の大獄を行ったため、1860年に桜田門外で暗殺された大老。
- (3) 長州藩の実権をにぎり、幕府をたおして列強に対抗できる統一国家を造る考えを打ち出した人物。
- (4) 西郷隆盛とともに薩摩藩の実権をにぎった人物。
- (5) 大久保利通とともに薩摩藩の実権をにぎった人物。
- (6) 土佐藩出身の坂本龍馬の仲立ちで、1866年に薩摩藩と長州藩が結んだ同盟。
- (7) 1867年に徳川慶喜が政権を朝廷に返上したできごと。
- (8) 西郷隆盛や岩倉具視らが朝廷を動かして出した、天皇中心の政治にもどすという宣言。
- (9) 1868年から始まった、旧幕府軍と新政府軍との一連の戦い。

(1)	
(2)	
(3)	
(4)	
(5)	
(6)	
(7)	
(8)	
(9)	

<明治維新①>

- (1) 江戸幕府をたおして成立した新政府が進めた諸改革と、それにともなう政治・経済・社会の変革。
- (2) 新政府が1868年に定めた、新しい政治の方針。
- (3) 新政府が1869年に行った、藩主に土地と人民を政府に返させる政策。
- (4) 新政府が1871年に行った、藩を廃止して県を置く政策。
- (5) 倒幕の中心勢力であった、薩摩・長州・土佐・肥前の4藩の出身者が実権をにぎった政府。
- (6) 新政府が1871年に出した、江戸時代に差別されていた人々の呼び名を廃止し、平民と同じとするとした布告。
- (7) 学校制度を整えるために政府が1872年に公布した、満6歳以上の全ての男女に小学校教育を受けさせることにした法令。
- (8) 政府が1873年に出した、満20歳以上の男子に兵役の義務を負わせることにした法令。
- (9) 政府が土地所有者に地券を発行し、地価の3%を現金で納めさせた税制改革。
- (10) 欧米諸国に対抗するために政府が目指した、経済を発展させて国力を増し軍隊を強化する、一連の政策。
- (11) 政府が積極的に進めた、近代産業を育成するための政策。
- (12) 優れた技術を広めるために、政府が各地に建設した、富岡製糸場（群馬県）などの工場。
- (13) 欧米の文化や生活様式が盛んに取り入れられ、都市部を中心に伝統的な生活が変化していった風潮。
- (14) 「学問のすゝめ」を著して、人間の平等と民主主義を分かりやすく説いた人物。
- (15) ルソーの思想を日本に紹介し、青年に大きな影響をあたえた人物。
- (16) 岩倉具視が全権大使として派遣され、欧米の進んだ政治・産業・社会を視察した使節団。
- (17) 1871年に日本が清との間に結んだ条約。

(1)	
(2)	
(3)	
(4)	
(5)	
(6)	
(7)	
(8)	
(9)	
(10)	
(11)	
(12)	
(13)	
(14)	
(15)	
(16)	
(17)	

(18) 政府内で高まった、武力で朝鮮の開国をせまる主張。

(18)	
------	--